

令和3年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和3年6月3日（木） 15:00～17:00

場 所：松山市役所 別館6階 第1委員会室

(2) 出席者

「令和3年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

1. 令和2年度決算の認定等について
2. 令和3年度の専門部会の活動状況について
3. 地方創生交付金事業の効果検証について
4. その他

(4) 議事概要

1. 令和2年度決算の認定について

原案通り認定

2. 令和3年度の専門部会の活動状況について

今年度の取組みについて各専門部会長から説明。

【ライフデザインプロジェクト】

・市内4大学で共働き経験者が登壇し、仕事と暮らしの両立について講演する「ライフデザイン出張講座」や、市内の共働き家庭に2人1組で2日間のインターシップを実施する「共働きお宅訪問インターシップ」を実施し、家庭を築きながら働くことを学生にイメージしてもらう機会を提供する。

・昨年度、事業に参加した学生から、学生主導の事業運営をすることが、より効果的な情報の発信や事業実施に繋がると意見があったことから、5月に開催したキックオフイベント「就活相談室」を実施時にプロジェクトに参加してくれる学生を募った。その結果、複数名の学生から参加したいという希望があったため、今後、学生と若手社員の共同により事業を進めていく。

【企業の生産性アッププロジェクト】

・ITツールを活用できる人材育成等に資するセミナーについては、ワークショップ等を含め5回程度の開催を予定している。また、昨年度実施したICT利活用調査の深掘りについては、6月以降、企業訪問等を行い実施していく。

・次世代通信システム研究会では、5Gに関する研究会を開催した。今後も高速通信インフラの活用を企業の生産性向上にどのように繋げていくか研究していく。

3. 地方創生交付金事業の効果検証について

該当する10事業について各事業について事務局から説明後、各委員から意見や質問。

(事務局説明)

新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、集客イベントの中止や観光産業の営業停止など、予定していた事業実施が困難な状況になるなか、オンラインの活用等によりウィズコロナに対応した事業展開や、アフターコロナを見据えた取組を実施することで、目標値を上回る実績となった事業、概ね目標値を達成した事業もあった。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大状況等を見極めながら、各事業に設定された目標が達成されるよう取り組んでいく。

(各委員からの質問・意見)

- ・アフターコロナへの対応について、単純にビフォーコロナの状態に戻るわけではないと思われるため、これまで実施していた事業展開だけでなく、更にアフターコロナを見据えた取組を実施していく必要がある。
- ・情報の発信という点において、魅力的な事業がうまく拡散できていないように思う。今後、デジタルツールなどを用いた広報を工夫し実施して欲しい。また、若い世代の行動特性の見極めや、各世代の情報ニーズを分析し効果的な情報発信をする必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応した事業実施に加え、中長期的な視点での事業展開が必要である。
- ・「通勤時間が短い」など松山市に関する様々なデータは提供されているが、その先にイメージできるものをあわせて提供することでより魅力的な松山市に見えるのではないかと。

4. その他について

事務局から説明

- ・現在の専門部会の活動期間について、令和2年度から令和4年度までの3年間を活動期間として研究・活動していただいている。昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け、活動内容の変更を余儀なくされたことや、新たな課題が発生するなど、当初の活動計画を延長することが、より良い部会活動に繋がると考え、活動期間を延長することを検討したい。また、前回幹事会でもお伝えしたとおり、部会活動の取組や成果が、人口減少対策活動にご賛同いただいている多くの推進団体へ広がっていくことで、官民連携の人口減少対策に繋がっていくことになると考えている。

委員意見

- ・活動期間の延長については、延長していただいた方が研究・検証の時間も長くとれるのでその方向で検討したい。

- ・各プロジェクトにおいて、市の事業として取り組んでいることを分かりやすく広報できると発展しやすいと思う。例えば、プロジェクトメンバーと市の対談など、何かイベント的なものが企画できるか検討していただきたい。